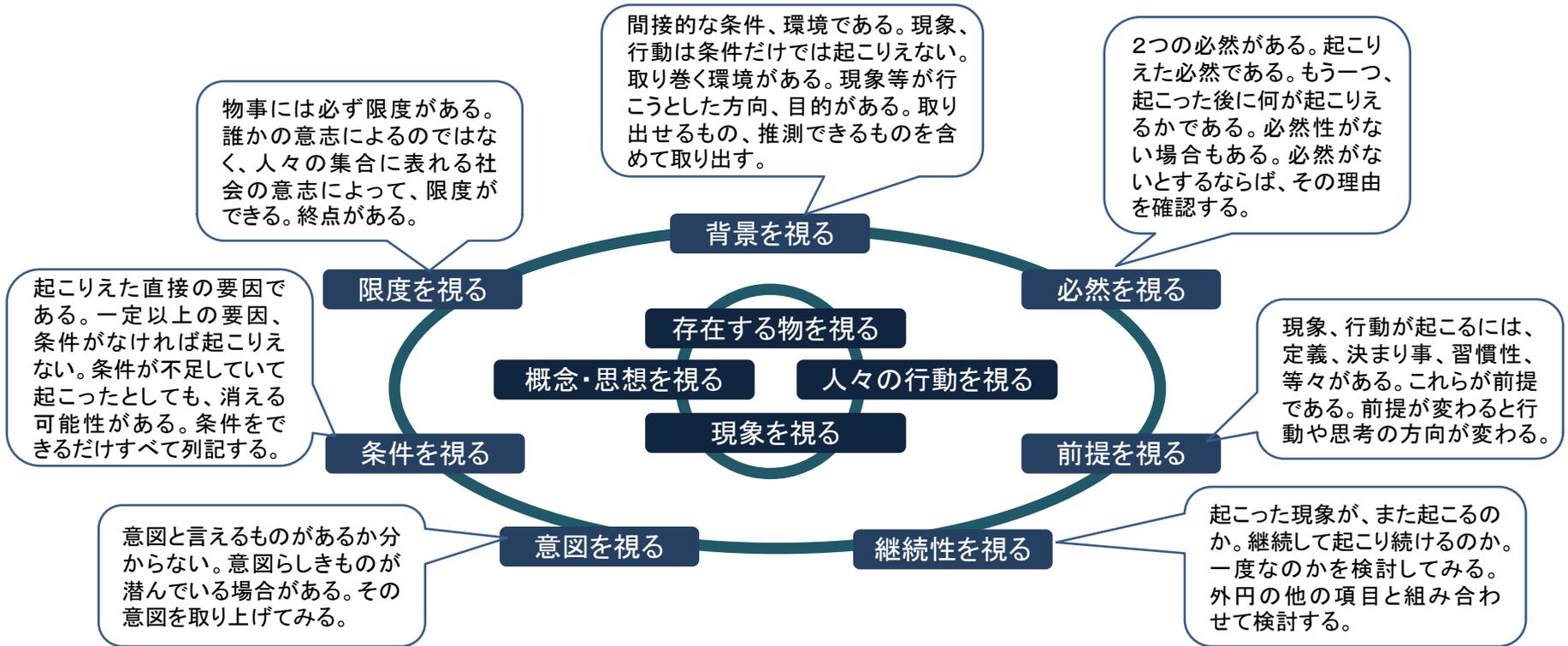


現象と背景を取り出す

観察した結果として中の円の項目がある。中の円の内容は「社会を刺激する要素」で挙げた結果である。
中の項目が起こりえる材料等々がある。外の円に材料等々を7つ挙げた。



外円項目の検討結果は、推定と明瞭なものに分類される。推定されたものは、回を重ねていくと、分散と絞り込みが繰り返され、明瞭なものに変化していく。

推定を推定としてはならず、推定した理由がどこかにあつたはずである。回数を繰り返すと、推定理由に気付く時がきて、新たに推定したとき、修正が可能になる。

社会変化を数で追うのは、客観性に満ちている。数の範囲を間違っていたとしても、事実としてとらえられる。しかし、一つ問題がある。確かな数はすべて過去の結果でしかない。

意味を追う。意味を追うとその後に数が続いてくる。意味が数の範囲を示していく。